

.Debian

銀河系唯一のDebian専門誌

2022年4月16日

DDTP & DDTSS 特集

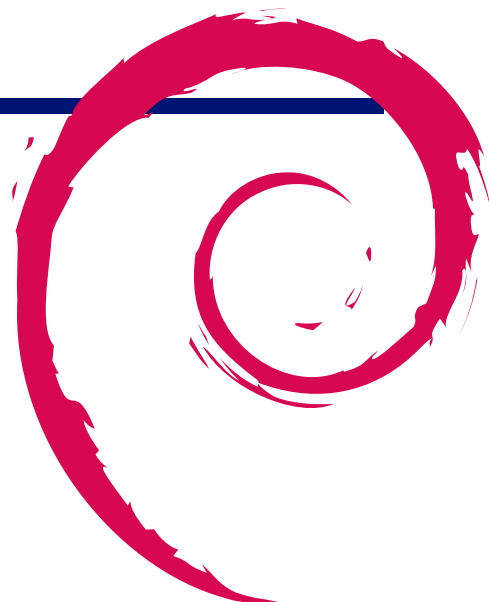


Debian 勉強会

目次		
1	最近の Debian 関連のミーティング報告	2
1.1	2022 年 3 月度 東京エリア・関西合同 Debian 勉強会 . . .	2
2	事前課題	3
2.1	dictoss	3
2.2	NOKUBI Takatsugu (knok)	3
2.3	sirtetris	3
2.4	hihitani	3
2.5	Hiroyuki Yamamoto (yama1066)	3
2.6	yy-y-ja-jp	3
2.7	Takayoshi Shiigi (tcgi) . .	3
2.8	レドレ (redred)	3
3	DDTP 及び DDTSS の紹介	4
4	BoF Debian のおすすめポイント	5
4.1	参加者	5
5	メモ	8

1 最近の Debian 関連のミーティング報告

杉本 典充



1.1 2022 年 3 月度 東京エリア・関西合同 Debian 勉強会

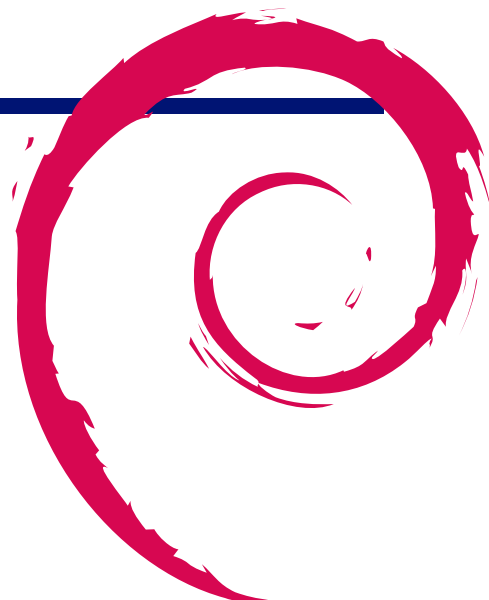
2022 年 3 月 19 日 (土) に東京エリア Debian 勉強会と関西 Debian 勉強会の合同でオンラインによる Debian 勉強会を開催しました。参加者は 8 名でした。

セミナーは dictoss さんの「git-buildpackage を使ってみる」の発表と、参加者全員で「情報交換&交流タイム」を行いました。

勉強会の終了後、参加者同士で Debian や OSS に関する話の情報交換を行いました。

2 事前課題

杉本 典充



今回の事前課題は以下です。

1. DDTP (Debian Description Translation Project) をご存じですか。
2. あなたが Debian を使う理由を教えてください。

2.1 dictoss

1. 知っており翻訳作業またはレビューをしたことがある
2. PC、サーバ、組み込み機器で動くため OS を統一でき利用者には便利なため

2.2 NOKUBI Takatsugu (knok)

1. 知っているが翻訳作業はしたことはない
2. アップグレードが保証されているから

2.3 sirtetris

1. 知らなかった
2. 仕事で管理しているサーバーは Debian です。

2.4 hihitani

1. 知らなかった
2. 今でも 32bit を明確にサポートしている

2.5 Hiroyuki Yamamoto (yama1066)

1. 知っているが翻訳作業はしたことはない
2. (回答なし)

2.6 yy-y-ja-jp

1. 知っており翻訳作業またはレビューをしたことがある
2. (回答なし)

2.7 Takayoshi Shiigi (tcgi)

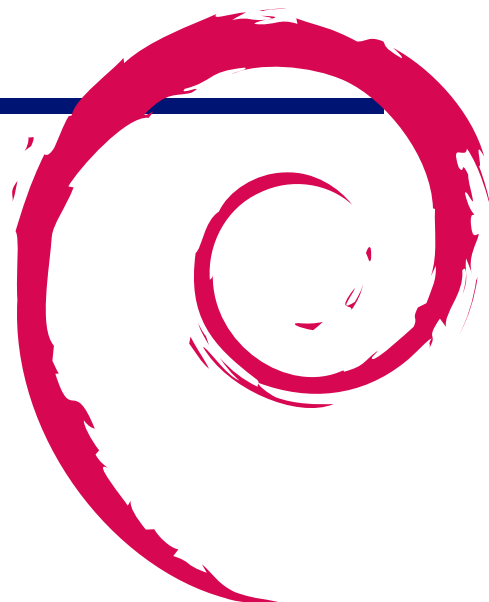
1. 知っており翻訳作業またはレビューをしたことがある
2. (回答なし)

2.8 レドレ (redred)

1. 知らなかった
2. ・派生が多いということは、それだけ多くの人の目が通っていて、安全な OS なのだろうと思える安心感。・日常のアップデート頻度が Ubuntu より控えめな気楽さ。・玄人を装えるドヤ自己悦 隙間あれば Debian 自体が開発しているソフトウェアの翻訳はどう行われているのかの様子も少しお聞きしたい。

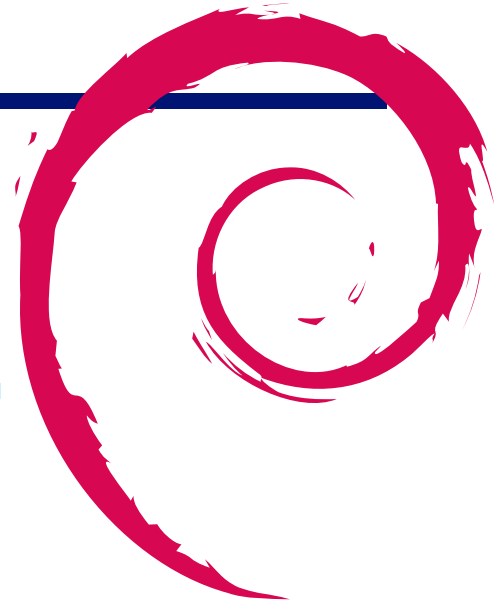
3 DDTP 及び DDTSS の紹介

杉本典充



プレゼンテーション資料をご覧ください。

<https://tokyodebian-team.pages.debian.net/pdf2022/debianmeetingresume202204-presentation-sugimoto.pdf>



4 BoF Debian のおすすめポイント

参加者全員

4.1 参加者

- dictoss
- knok
- yy-y-ja.jp
- sirtetris
- redred
- Hiroyuki Yamamoto (yama1066)
- tcgi
- ipv6waterstar

4.1.1 利用者として Debian を使う良さ

- フリー (自由) など
- 移植版が多く、いろいろな CPU で動作する
- 今でも 32bit を明確にサポートしている
- PC、サーバ、組み込み機器で動くため OS を統一でき利用者には便利なこと
- メモリ量が少ない、ディスク容量が少ないハードウェアにもインストールできる (Debian 10 bullseye ではメモリは最小 256MB でインストール可能)
- 使いやすい、かつしっかりしたパッケージ管理
- パッケージ量が多く、使いたいアプリケーションのパッケージはだいたいある
- Debian Science チームが結構多くのフリーな科学関連パッケージを入れてくれている
- stable-backports があるため、安定版でも最近の新しいアプリケーションやカーネルが提供されている
- アップグレードが保証されていること (ここ具体的に知りたいです)
 - アップグレードができるようなパッケージを作成するようポリシーで定められている
 - ただし複数のメジャーバージョンを跨いだアップグレードは保証しない (順番に 1 つずつメジャーバージョンをアップグレードすれば最新バージョンまで上げることができる)
- 派生が多いということは、それだけ多くの人の目が通っていて、安全な OS なのだろうと思える安心感
- Debian に基づくディストリビューションが多いから、新しいパッケージマネージャーなどを学ばず割と簡単に Debian に移れる (例えば初心者向けのイメージがある Ubuntu から)
- 日常のアップデート頻度が Ubuntu より控えめな気楽さ
- 簡単にサーバを構築できる

- 因みに、我が家には 10 台ぐらいのサーバが動いている
- 異なるディストリビューションが用意されている (stable/testing/unstable)
- ポリシーがしっかりしているところ
- セキュリティ情報がしっかり提供されている
- セキュリティの脆弱性情報が公開された後すぐに更新パッケージが配布されることが多い

4.1.2 開発者として Debian を使う良さ

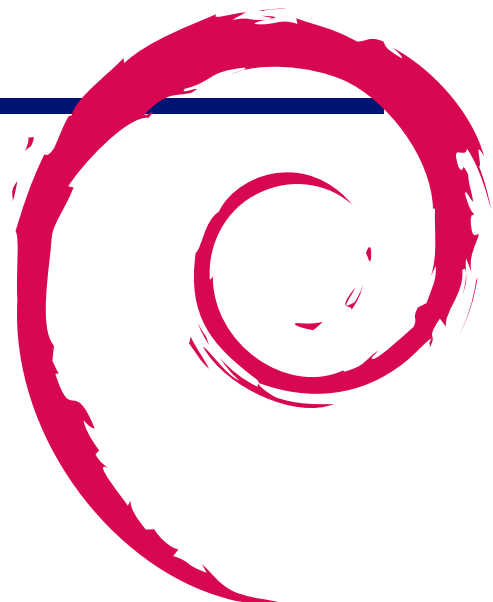
- 中身が公開されているので自分の手元で直せる
- フリー (自由) のため再利用や改変などしてよいことが保証されている
- 個々のパッケージのライセンスを確かめやすい (フォーマット化されたライセンス情報)
 - <https://sources.debian.org/> を参照すればローカルにファイルがなくてもよい
- 「Debian 系」と言われるように Debian 系の派生 OS の源流のため色々な情報が集まる
- buildd (<https://build.debian.org/>) で、各アーキテクチャのビルドログなどを参照できる
- 開発者の身元確認が厳格で、OpenPGP による Web of Trust が構築されている

4.1.3 Debian が他のディストリビューションから知見を取り入れるとよいこと

- 敷居？
 - 他のディストリビューションのように気楽に Debian を使ったり開発したりしてほしいが何が障害なのだろうか？
 - 気軽に Debian を使ってみる機会があるとよいのでは？
 - * 気軽に触れる Web サービス等 (ビルドサービス OBS とか) があるといい？
 - * ブラウザで触れる Debian 環境 WebVM <https://webvm.io/>
- Secure Boot 関連
 - Debian 10 buster (2019-07-06 リリース) から Secure Boot に対応している
 - * ただし DKMS を使って自分でビルドしたカーネルモジュールは Secure Boot すると使えない仕様になっている
 - 他のディストリビューションはどうなのでしょう？
- リリース時期、サポート期限のコミット発表時期がいつと決まっていない、リリースと同時にサポート期限が公開されない
 - リリース日がいつになるかがかなり前から事前にわからないのは確かにそのとおり
 - * Debian のリリースは Time-Based Release ではないことが理由。ただし、およそ 2 年ごとにリリースするように運営している。
 - * 「Debian は時間ベースのリリースフリーズを採用します」 <https://www.debian.org/News/2009/20090729>
 - stable のサポート期限は 3 年と決まっている
 - * <https://www.debian.org/releases/index.ja.html>
 - stable には LTS を提供している (intel 系/arm 系に限定して提供する実情あり)
 - * <https://wiki.debian.org/LTS/Extended>
 - * <https://deb.freexian.com/extended-lts/>
 - 日本語のドキュメントが他のディストリビューションより少ない気がする
 - * Debian wiki はだいたい英語な気がする
 - * Arch wiki はかなり日本語訳が豊富
 - ・ どのような仕組みでやっているのでしょうか。単に人が多いから？敷居？
 - 時々変わったものを採用したりする

- * wayland
 - Debian 10 buster (2019-07-06 リリース) で wayland は GNOME を使うと使えるようになった
 - <https://www.debian.org/releases/buster/amd64/release-notes/ch-whats-new.ja.html#wayland-by-default-on-gnome>
 - 上流の GNOME が wayland をデフォルトに変更したため、Debian もそのデフォルトを取り込んだ経緯がある
 - ただ、他のウィンドウマネージャは継続して X11 を利用するようになっている
- * mariadb
 - Debian 9 stretch (2017-06-17 リリース) で mysql から mariadb を採用するように変更した
 - <https://www.debian.org/releases/stretch/amd64/release-notes/ch-whats-new.ja.html#mariadb-replaces-mysql>
- * Exim4
 - Debian では MTA のデフォルトに Exim4 を採用している
- ウィンドウマネージャの選択肢が多いのが問題？
 - パッケージの多様性がどれを選べばよいかわからなくしている？
 - 直接は関係ないが、いまだに Compiz が残ってる

5 メモ





Debian 勉強会資料

2022年4月16日 初版第1刷発行

2022年11月23日 第2版第1刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
